



平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【京都府】

学校名【 京都府立中丹支援学校 】

1 実践テーマ	【 III・V 】										
2 実施対象者	<table border="1"> <tr> <td>中丹支援学校中学部生徒1～3年生</td> <td>37名</td> </tr> <tr> <td>福知山高等学校附属中学校1年生</td> <td>39名</td> </tr> <tr> <td>中丹支援学校高等部生徒</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>大江高校、福知山高校、綾部高校、工業高校生徒</td> <td>78名</td> </tr> <tr> <td>PTA（児童生徒含む）</td> <td>28名</td> </tr> </table>	中丹支援学校中学部生徒1～3年生	37名	福知山高等学校附属中学校1年生	39名	中丹支援学校高等部生徒	50名	大江高校、福知山高校、綾部高校、工業高校生徒	78名	PTA（児童生徒含む）	28名
中丹支援学校中学部生徒1～3年生	37名										
福知山高等学校附属中学校1年生	39名										
中丹支援学校高等部生徒	50名										
大江高校、福知山高校、綾部高校、工業高校生徒	78名										
PTA（児童生徒含む）	28名										
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名（ 体育、特別活動 ）</p> <p>② 行事名（ 交流及び共同学習 ）</p> <p>③ その他（ PTA親子レクリエーション ）</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名（ ）</p> <p>② その他（ ）</p>										
4 目標 (ねらい)	<p>パラリンピック正式種目であるボッチャやその他のスポーツ活動をとおして、児童生徒がスポーツに関わりを持つようとする機運を高めるとともに、自己肯定感のさらなる向上につなげる。</p>										
5 取組内容	<p>(1) 平成30年11月13日（火）。交流及び共同学習として行った「福知山高等学校附属中学校との交流会」においてパラリンピック種目のボッチャ、そして障害者スポーツとして扱われている転がし卓球バレーやフライングディスク・アキュラシーを活用した交流の場を設定した。</p> <p>本校の生徒は、特別活動や体育の時間を活用して、交流及び共同学習に向けてその意義を確認したり、交流で行う種目の練習を行ったりした。当日は、小集団で日常的に取り組んだ各競技で交流を行い、主体的に取り組み、交流を深めることができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(2) 平成30年11月17日（土）に五校交流会を実施した。昨年</p>										

度購入した『八角的』を活用したボッチャで、高等学校へ通う生徒たちと交流を図った。日頃から取り組んでいる競技であるため、主体的に取り組み、大きな歓声を上げながら親睦を深めた。



(3) 平成30年7月8日(日)と12月9日(日)に綾部地域PTA行事として、ボッチャを活用して地域の親睦を深めた。



	<p>度購入した『八角的』を活用したボッチャで、高等学校へ通う生徒たちと交流を図った。日頃から取り組んでいる競技であるため、主体的に取り組み、大きな歓声を上げながら親睦を深めた。</p>   <p>(3) 平成30年7月8日(日)と12月9日(日)に綾部地域PTA行事として、ボッチャを活用して地域の親睦を深めた。</p>  
<p>6 主な成果</p>	<p>障害者スポーツは、練習を重ねれば、誰でも上達することができ自信をつけることができる。また、肢体障害がある児童生徒であっても意欲的に活動に取り組むことができるため、交流及び共同学習のような場面でも主体的に取り組むことができた。</p>
<p>7 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>肢体障害や知的障害がある児童生徒が主体的に参加できるように、ランプや八角的を効果的に活用した。 交流及び共同学習に向けて、日常的に競技に取り組ませ、自信をもって当日を迎えることができるように取組を進めた。</p>
<p>8 主な課題等</p>	<p>平成31年度は、オリンピック・パラリンピックの前年度であることから、交流に向けた練習に合わせて、歴史やその意義に関する学びという視点も取り入れる。</p>
<p>9 来年度以降の実施予定</p>	<p>ボッチャを含む障害者スポーツに日常的に取り組む、様々な場で子どもたちが主体的に、そして意欲的に活動することで地域の障害者理解につなげ、共生社会の実現に向けて取り組みたい。</p>